

木育こそだてのまち まつうらへ

「ウッドスタート宣言」



松浦市では、暮らしの中に木の温もりを取り入れ、健やかな成長につなげることを目的とする「木育」を推進してきました。今月号では、県内初となる「ウッドスタート」を宣言した松浦市の「木育」について紹介します。

■「木育（もくいく）」とは

「木育」は、北海道庁主導の「木育（もくいく）」プロジェクトの提案によって生まれた言葉です。具体的には、「子どもをはじめとするすべての人びとが、木とふれあい、木に学び、木と生きる」といった学びの活動を木育と呼んでいます。

本市では、木育を「子どもから大人までを対象に、木材や木製品との触れ合いを通じて木材への親しみや木の文化への理解を深めて、木材の良さや利用の意義を学ぶための教育活動」と位置付け、推進しています。

■「木育」に取り組む背景

はじめに、木材利用の文化や知識の伝承という課題です。木材には様々な利点があるものの、技術の進歩や生活様式の多様化を背景として、鉄骨やコンクリートの家が増え、木の温かみを感じられる住宅が減少し

ています。暮らしに木を取り入れていくことにより、木の文化を伝えていくことができます。

次に、子育て施策と木材活用の連携です。本市では、転出超過によって人口減少が顕著な課題となっており、子育て環境の更なる充実、または、新たな移住・定住人口の拡大に向けた取り組みの中に木材の積極的な活用を促す展開も考えられます。

最後は、森林環境の保全です。さまざまな農水産物は、豊かな自然がもたらす栄養分豊富な「水」によって育まれています。

これらの「水」を生み出す森林を将来にわたって守り、木を使うことと環境を守ることが繋がっていることをしっかりと理解することが重要となります。

■目指す目標

あらゆる恵みに欠かせない森林の大切さを理解し、木材を無駄にせず、利活用していく取り組みを推進し

なければなりません。

本市では、木の温もりを暮らしの中に取り入れることで、心豊かな成長へと導き、将来、木や森林を身近に感じながら、自然を大切に考え行動できる「人」の育成を目標としています。

■これまでの「木育」の取り組み

「木育」を推進する取り組みとして、認定NPO法人芸術と遊び創造協会をはじめ、各団体と連携しながら、様々な事業を展開してきました。

(1)「木育キャラバン in 松浦」の開催

「木育」推進の一環として、多くの人々が木に触れ、ぬくもりを感じてもらおう機会を提供するため、昨年2月23日～24日に、移動型おもちゃ美術館「木育キャラバン in 松浦」を開催しました。イベント期間中は、200種類を超える木製玩具や、木製のブランコ、シーソーおよびハンモック等を設置した森の遊園地などを設置し、多くの来場者で賑

(2)「松浦市木育推進計画」
の策定

市内各団体の協力のもと、木育推進に関する今後3か年の基本的な計画として、「松浦市木育推進計画」を策定しました。

この計画では、「人づくり」、「拠点づくり」、「森林づくり」の3つの大きな基本目標を掲げています。

(3)「木育講演会」の開催

「木育」の理解を深めるため、昨年9月14日に、認定NPO法人芸術と遊び創造協会の多田千尋理事長による《赤ちゃんからはじまる生涯木育》と題した「木育講演会」を開催しました。

(4)「木製ツリー」の設置

「木」を身近に感じていただく取り組みとして、「木製ツリー」を昨年の12月初旬から市役所ロビーに設置しています。木製ツリーは、松浦商工会議所青年部が製作されたもので、イルミネーションの点灯や、四季折々の飾りつけなど、おもてなし空間を創出しています。



(5)「ウッドスタート宣言」
の調印式

令和2年2月22日(土)、午後2時22分の2並びの日、認定NPO法人芸術と遊び創造協会が運営する東京おもちゃ美術館との間で、暮らしの中に木を取り入れ、木の持つ可能性を最大限に引き出し、子育て・子育てに生かす取り組みを進めていくため、「ウッドスタート宣言」に調印しました。

この宣言は、全国で53番目、長崎県内では初の宣言自治体となります。

「ウッドスタート」とは、木育の一環として、木を中心とした子育て・子育て環境を整備し、子どもたちが木の温もりを感じながら、楽しく豊かに成長できる取り組みです。

「ウッドスタート宣言調印式」では、1歳の赤ちゃんに誕生祝品として、木製玩具を贈呈するとともに、「木育」の魅力や情報の発信に協力いただくため、赤ちゃんを「木育きつず隊員」、保護者の皆様を「木育推進員」に任命しました。



▲誕生祝品「青のまちパズル」

■子育てしやすい松浦へ向けて

これまで、多くの市民皆様に對し、「木育」の浸透を図るため、様々なイベント等を開催してきました。既に、全国では小学生を対象とした「木育」に関する

施策として、木の天板を自作する取り組みなどのほか、産業の活性化に向けた木材の積極利用も広がりを見せています。

松浦市では、「ウッドスタート宣言」を一つの契機とし、本年は、木工体験教室などを予定しており、更なる「木育」に着眼した「木育(こそだ)てのまちまつうら」を目指します。



木育イベント参加者の声

・木が多くあふれる環境なのに、木と触れ合えたり木を使った遊びが少ない。そんな時代でも、やっぱり人は原点に戻り、自然の大切さ、ありがたさを学ぶことが大切。

・木のぬくもりの安全なおもちゃに触れさせるのは子どもにとっても良いことだと思っているので、この様なイベントをぜひ、どんどんしてもらいたいです。

・市が木育に取り組みようとする姿勢が今までと違うと思った。子育てしやすい環境が期待できる。

・木に触れる機会が生活の中であまりなかったので、改めて、木に触れる時間がゆっくり持てて、ゆっくりとした時間が過ごせました。

・なかなか木のおもちゃに触れて遊ぶ事がないので、このような機会を開催していただき、とてもうれしいです。子どもも夢中で遊んで、充実した楽しい一日を過ごす事ができました。